



NO. 97

2017. 11. 1 発行

つじ 隆一 市議員

議会活動報告

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588
 事務所 TEL・FAX 252-9511 E-mail: fureai@ilac.plala.or.jp

社民党仙台市議団

(TEL 214-8717)
(FAX 711-3453)

宮城野区版

市民協働の

まちづくり継承へ

郡和子仙台市政がスタート!

7月23日に執行された仙台市長選挙で郡和子氏が当選し、8月22日に第35代仙台市長に就任しました。

この市長選は、4月はじめに奥山恵美子前市長が突然不出馬を表明したことから候補者選びがスタートしましたが、候補者選びは難航しましたが、

「市長を市民の手で選ぶ市民の会が郡和子衆議院議員(当時)に白羽の矢を立てて、各政党等への呼びかけなどから選挙戦がスタートしました。

社民党仙台市議団は、市長の政治姿勢として「市民協働のまちづくり」、「憲法を暮らしに活かすこと」、「住民自治



市民に歓迎される郡市長(8/22市庁舎1F)

・地方分権の推進」の3点を掲げ、各分野における重点政策掲げて選挙戦に臨みました。

選挙戦では、村井県知事や奥山市長が対立する候補を推すという厳しい状況下でしたが、「森友学園問題」「加計学園問題」などで安倍政権への不信が背景にあったことも重なり、市民の力が大いに発

揮された結果となりました。仙台市政が宮城県政の下請的になることを許さなかった、市民協働、自治意識も含めた市民の良識が勝ったとも言えます。

郡市政の誕生にあたって、長年の仙台市政の伝統でもあり、培ってきた市民協働によ

郡市長が市議会での初の「所信表明」

9月11日、第3回定例会市議会開会の冒頭で郡和子新市長は「所信表明」として市政運営への決意を述べました。

その中で、まちづくりの基本的な考えについては、「まちのあり様を考えたときその主役は常に『人』であり、市民の命や健康、財産はもとより、本市の文化や歴史、自然など『守るべき』ものをしっかり守りながら、その力を十分に『活かせる』まちづくりを市政運営の理念としていく」としました。その上で、「市民が健やかに安心して暮らせるまちづくりについて『いじめ防止条例』の制定など再発防止、35人以下学級

るまちづくりの推進は言うまでもありません。被災者の暮らしを再建を柱とした震災復興、地域経済の活性化、魅力ある都市づくりとともに、子育て、教育、環境など市民生活に寄り添った市政推進が求められており、それを支える体制づくりが問われています。

の拡充、仙台版奨学金制度の創設などを検討していく」と述べ、「復興なくして仙台の未来はない」として復興への取り組みを強調しました。

また、「まちの魅力と活力の向上の推進」については、経済の活性化と交流人口の拡大、起業や創業の促進、東北各地域との観光連携による東北全体の集客力の向上を掲げました。そして、これらのまちづくりを「市民の皆様との協働により推進していく」ことを強調しました。

市議会では、郡市長を支える「与党」は少数派となりましたが、所信表明を評価した支援体制が求められています。

平成29年第3回定例市議会報告

計25議案を審査

平成29年第3回仙台市議会定例会は、9月11日から10月12日まで開かれ、平成28年度一般会計等の決算認定をはじめ、計25件の議案審査を行いました。

一般会計の決算では、東日本大震災の復興事業の進捗を反映して、対前年度比の歳入で9.4%減（総額488.9億円）、歳出で8.9%（同474.3億円）の減少となりました。また、単年度で見れば一般会計では33億円の赤字決算となりましたが、それは復興予算が事業の積み残し等による残額を計上したものであるもので、実質的には赤字決算であり、經常収支比率の悪化などが明らかになっています。

一般会計の補正予算は、休日保育を実施する私立保育所への助成、宮城総合支所の庁舎改修費、地方版図柄入りナンバープレートの導入へのデザイン作成・広報等の経費など、計約3900万円の規模なものとなりました。

交通事業の経営悪化が浮き彫りに

企業会計では、水道、ガス事業、病院事業は黒字を計上しましたが、病院は旧市立病

院跡地の売却益によるもので、実質的には厳しい状況に変わっています。バス事業は、地下鉄東西線開業の影響もあり、乗客数、収入とも減少し、資金不足比率がさらに悪化するなど、経営が危機的状況にあることは変わりありません。

つじ隆一当面の主な行動予定

- 11. 2 仙台・福島・山形広域観光連携研究会
- 11. 8 市民教育委員会他都市視察（～10、大津市、横浜市他）
- 11. 15 宮城野区政治学学会（市民自主大学）
- 11. 18 燕沢地区社協ふれあい食事会
- 11. 20 燕沢学区「動く区長室」
- 11. 21 市民教育委員会
- 11. 23 市青少年健全育成大会で社明運動表彰（燕沢地区社協）
- 11. 24 仙台の夕べ（東京）
- 11. 25 ソキウスせんだい理事会
- 11. 27 社民党市議会他都市視察（～29、函館市、八戸市他）
- 11. 30 第4回定例市議会議案説明
- 12. 7 第4回定例市議会開会
- 12. 20 市民教育委員会
- 12. 22 第4回定例市議会閉会



市議会で答弁する郡市長

教職員の給与負担へ市・

県民税の負担割合を変更

条例案等では、県費負担教職員の給与負担が都道府県から指定都市への委譲に伴い、都道府県民税と市町村民税の所得割の標準税率について、市民税の所得割は100分の6から8へ、県民税は100分の4から2にすること、家

庭的保育事業に供する固定資産税及び都市計画税の免除などのための仙台市市税条例の改正案が提案されました。

また、東日本大震災の被災者等の入学金及び授業料等を引き続き減免することができ

るための仙台市学校条例の一部を改正する条例も提案されました。更に、今泉・松森清

掃工場の施設設備改修工事費、東部復興道路（県道塩釜亘理線）のかさ上げ工事費、（仮称）錦丘中学校の校舎等の新築工

市長の政治姿勢・市政運営などを質す

つじ議員が代表質疑

市民協働のまちづくり手法について

つじ議員は9月19日に会派



本会議で代表質疑を行うつじ議員(9/19)

事費にかかる工事請負契約の締結に関する件なども上程されました。

その他、人事案件では教育委員の選任に関する案件も上程され、これらは全て承認、可決されました。

《採択された意見書等》

- ☆「大災害時の法制度に関する抜本的な見直しを求める件」
- ☆「免税軽油制度の継続を求める件」
- ☆「卸売市場法の見直しを丁寧に行うことを求める件」

を代表して質疑を行いました。

まず、市民協働は仙台市政の伝統的なまちづくりの手法であるが、郡市政としてどのように推進していくのかを質

したのに対し、郡市長は「前市長から受け継いだ市民協働を市政運営の柱に据えることが重要。市民の力を結集し魅力あるまちをつくりあげていきたい」と答えました。

また「若手の育成」について以前から求めてきた支援制

度の施策の推進については、「地域では町内会の高齢化や担い手不足が深刻化し、若者を含む幅広い世代の担い手としての育成が重要であり、支援のあり方を検討していく」などと答えました。

市バス事業は公営事業として存続を

経営面で厳しい局面に立たされている市バス事業について、「市民の足を守り、移動する権利を保障する視点からバス事業を公営事業として存続させるべきではないか」と質

したのに対し、「市営バスは市民の足として公共交通の中心的な役割を果たしていくべきものであり、安定的・持続的な経営に向けて意を用いていく」と前向きな答弁を行いました。

その他、市政運営にシंकタンクの活用、「協働まちづくり推進条例」に対する市民の認知度の向上策、災害対応法制の見直し、県の広域防災拠点整備への対応と本市の復興メモリアル事業のあり方、臨時財政対策債の増加への対応

仙台市政運営及び30年度予算要望を提出

社民党仙台市議団は、毎年翌年度の仙台市の予算編成時期に合わせて、市政運営及び予算に関する要望書を提出しています。

《主な政策要望》詳細は次号

◇条例制定について

- ・子どもの権利条例
- ・いじめ防止条例
- ・交通基本条例
- ・給付型奨学金条例
- ・公契約条例
- ・公文書管理条例（公文書館）
- ・学校給食公会計条例

◇市政運営について

- ・公正・適正な入札制度
- ・指定管理者制度の見直し

市政運営に関して17項目、予算関係で91項目、各区の政策77項目の計185項目にわたり、10月12日、第3回定例会最終日に市長宛に提出しました。詳しくは、社民党宮城県連合・社民党市議団のHPで。

策、地域交通政策への行政の責務と市民協働の取り組み、などを取り上げました。

また、決算等調査特別委員会では、震災復興メモリアル事業のあり方、障害者差別解消条例の普及、障害者の就労事業の拡大及び自立支援のためのグループホームの拡充などを取り上げました。



市長に要望書を提出する社民党市議団

・非正規雇用職員・外郭団体職員の待遇改善

◇市民生活に関して

- ・「非核平和都市」の宣言
- ・国保事業の都道府県化に伴う適正な保険料等
- ・女川原発の再稼働停止
- ・石炭等火力発電所の新設・稼働に生活環境保全対策等

問われる地域交通問題 燕沢地区でも実践へ始動

燕沢地区の長年の課題として交通問題があり、これまでは「地区内にコミュニティバスを通せないか」などの要望や、交通問題に関する学習会などに取り組んできました。



高齢者サロンで交通問題を（9/28鶴ヶ谷南町内会）

8月28日には、学区内町内会長、地区社協・民児協会長等が集い、第1回目の「交通検討会」が開催されました。これは、仙台市都市整備局公共交通推進課が進める地域交

通のあり方を検討していくために取り組んでいる「まちづくり支援専門家（アドバイザー）派遣制度」を活用しての会議でした。その中で、今年度は「グループインタビュー調査」を実施していくことになりました。とくに交通問題を身近な問題として捉えている「高齢者」の方に参加をお願いしたいということになり、町内会・地区社協として高齢者サロン+交通問題に興味ある方の参加により、9～10月中に実施することになりました。地域交通問題はつじ議員も議会でも長年取り組んできましたが、仙台市政の大きな課題ともなっています。



燕沢交通問題検討会（8/28）

つじ隆一の活動日誌

- 7. 1 海岸公園完成式（荒浜地区）
- 7. 6 防災・減災推進調査特別委員会
- 7. 7 市議会いじめ問題調査特別委員会
- 7. 8 市学校職員労働組合定期総会
- 7. 9 仙台市長選挙告示
- 7.10 佐高信政治塾
- 7.16 郡和子個人演説会（燕沢コミセン）
- 7.18 宮城県原爆死没者追悼平和記念式典
- 7.19 仙台市社会福祉審議会老人福祉専門委員会
- 7.21 市民教育委員会
- 7.23 仙台市長選挙投・開票日
- 7.25 第1回燕沢地区社協理事会
- 7.26 陸奥国分寺ガイダンスセンター開所式
- 7.28 社民党県連合自治体議員団学習会
- 7.30 燕沢学区民まつり（雨天中止）
- 8. 2 防災ヘリ活動拠点施設視察・市内同乗視察
- 8. 4 特養ホームパルシア・テラスパーティ
- 8. 9 市議会いじめ問題調査特別委員会
- 8.12 燕沢東部・小鶴北部町内会盆踊り大会
- 8.15 母親平和行進
- 8.19 葛蒲沢町内会盆踊り大会
- 8.21 市民教育委員会
- 8.22 郡和子新仙台市長初登庁
- 8.23 全国消防救助技術大会（グランディ 21）
宮城野区シルパーフェスティバル
- 8.25 全水道仙台定期大会
- 8.26 ソキウスせんだい理事会・臨時総会
- 8.28 燕沢地区交通問題検討会
- 8.30 市交通退職者会定期総会、仙台市社会福祉
審議会老人福祉専門委員会、佐高信政治塾
放射能汚染廃棄物対策会議
- 8.31 第3回定例市議会議案説明、市職員現業労
組定期大会
- 9. 2 鹿児島県人の墓参・交流会
- 9. 3 宮城野消防団特別点検
- 9. 4 宮城県高齢者集会
- 9. 5 第2回燕沢地区社協理事会
- 9. 9 市交通労組川内支部定期総会
- 9.10 仙台市総合防災訓練（岩切地区防災訓練）
- 9.11 平成29年第3回定例市議会開会
- 9.14 特養ホームパルシア敬老祝賀会
- 9.15 市議会本会議（～22日）
- 9.16 燕沢学区各町内会敬老会（～18日）
燕沢「俺たちの祭り」
- 9.19 本会議で代表質疑
- 9.20 仙台市職員労働組合定期大会
- 9.23 社民党市議団政策・18年度予算要望検討会
- 9.24 国労仙台地方本部定期大会
- 9.25 市民教育委員会
- 9.26 決算等審査特別委員会（～10/10）
宮城県生協組合員集会
- 9.28 鶴ヶ谷南・小鶴北部町内会高齢者交通問題
を考えるサロン
- 9.30 市交通労組定期大会
- 10. 1 燕沢学区文化振興会演芸大会
- 10. 7 葛蒲沢町内高齢者交通問題を考えるサロン
- 10. 8 つるがや元気まつり、燕沢少年野球招待野
球大会
- 10.12 平成29年第3回定例市議会閉会

◆燕沢自主総合防 災訓練を実施◆

毎年行われている燕沢学区自主防災訓練が10月15日に実施されました。今回も燕沢小学校の体育館での避難所設置訓練が中心となり、つじ議員が会長の地区社協は要援護者安否確認などに参加しました。



◆防災ヘリ活動拠点 の整備などを視察◆

8月2日、仙台空港北側に仙台市防災ヘリの活動拠点（津波で被災し、代替施設の整備が課題でした）となる施設の整備状況とともに、ヘリに搭乗して市内の復興状況などについて視察しました。



その他の主な活動

◆若者の自主的祭 りで盛り上がる◆

9月16日、燕沢学区内の若い方々の「俺たちの祭り」と称した自主的な祭りが行われ、出店と花火大会などで大いに盛り上がりました。つじ議員はその顧問としてひとまち財団の助成等に尽力しました。



◆つるがや元気まつり が盛大に行われる◆

10月8日、第9回目となる「つるがや元気まつり」が催されました。主催はつじ議員も相談役を務める「つるがや元気会」で、交通問題などのまちづくりの勉強の他や健康講座などにも取り組んでいます。



◆荒浜地区に運 動公園が整備◆

東日本大震災の津波で被災した市東部の荒浜地区の海岸公園が7月1日にリニューアルオープンしました。パークゴルフ場や多目的運動広場が整備された他、センタークラブなども設置されています。

